

2009年7月27日

各 位

熊本県熊本市南熊本三丁目14番3号
株式会社トランスジェニック
代表取締役社長 山村 研一
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 IR・広報担当 森田貴子
電話番号 078-306-0590

国立国際医療センターとの共同研究開発契約締結のお知らせ

株式会社トランスジェニックと国立国際医療センター（総長：桐野高明、東京都新宿区）は、2009年7月27日、新型インフルエンザ簡易迅速確定診断方法の確立をめざした共同研究開発契約を締結しましたので、お知らせいたします。

今後、当社は国立国際医療センター研究所とともに、新型インフルエンザ（H1N1）を特異的に認識する抗体を創製し、簡易迅速確定診断方法の開発を進めます。

この共同研究は、大流行が危惧される新型インフルエンザ対策として、約半年間で実用化を目指す緊急プロジェクトです。当社は、当社の独自技術である高親和性抗体作製技術「GANPマウス®技術」を活用し、特異性の高い優れた抗体を迅速かつ効率的に創製します。

本共同研究が当社の業績に及ぼす影響は未定であります。今後、重大な影響を与えることが判明した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

ご参考

*GANP®マウス技術

遺伝子改変マウス「GANP®マウス」を用いて、親和性ならびに特異性の高い抗体を作製する当社独自の技術です。当社は、本技術を抗体関連の技術プラットフォームにおける基盤技術と位置づけ、自社製品開発に活用しているほか、製薬企業・診断薬メーカーなどへ本技術のライセンス供与を行い、ライセンス収入・ロイヤリティ収入の獲得をめざしたビジネスを展開しています。

◆GANP とは？（GANP：Germinal Center Associated Nuclear Protein）

熊本大学阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生するB細胞で発現し、抗体遺伝子に変異を入れる働きがあり、特異性の高い抗体を産生できます。

◆GANP®マウスとは？

GANP 遺伝子を導入したマウスです。

参考文献：Sakaguchi N. et al., J Immunol. 2005 Apr 15; 174(8):4485-94.